

5月の農業情報

タイトル 期待大！県育成ブドウ新系統の現地適応性試験がスタート

とき 令和5年4月25日（火）

ところ JA豊橋ぶどう部会員ハウスほ場（豊橋市）

主体・対象 JA豊橋 ぶどう部会（51名）

内容

ブドウ生産者は県オリジナル新品種の登場を以前より待ち望んでいました。愛知県農業総合試験場園芸研究部落葉果樹研究室が2014年に交配し、2021年に一次選抜した赤系新系統について、県内6カ所で現地適応性試験が開始され、豊橋でも取り組まれることになりました。4月25日、試験場の職員が、新たな赤系ブドウ2系統をシャインマスカットの緑枝に接木しました。試験場の園主だけでなく、関心を持ったJA豊橋ぶどう部会員が集まり、接木の様子を興味深く見学していました。見学に参加した部会長は「待望の県オリジナル品種。果実の着果を部会全体で見守りたい。」と話していました。



高い関心を持って接木を見学する生産者